

ザ・2020ビジョン コモンズレター

追加型投信 / 国内 / 株式



運用責任者メッセージ

12月の内外株式市場は、米国の政策金利見通しが注目されました。12月も0.25%の利下げが実施されたものの、2025年の利下げペースが年間4回から2回に大幅に鈍化する見通しとなったことで、NYダウは50年ぶりの10営業日連続の下落となりました。同指数は月間で▲5.3%下落しました。一方、国内市場では、ホンダと日産自動車が発行統合に向けて協議に入ることが発表され、トヨタ自動車がROEを約2倍引き上げ20%の目標を掲げるなど、自動車関連のニュースが注目されました。業種別では、東証33業種のうち輸送用機器、海運業、その他製品が騰落率上位、電気・ガス業、陸運業、医薬品が下位となりました。

皆さまのおかげをもちまして、『ザ・2020ビジョン』が第11期の決算を迎えることができました。改めて役員一同、心から感謝申し上げます。

当ファンドは、「2020年を起点に日本は新たなステージに入る」との考えをベースに、『変化』をキーワードとした銘柄選択を行っています。2020年のコロナ禍を予測したわけではありませんが、世界中でコロナ禍対策として超低金利政策と最大規模の財政出動による経済対策が行われました。加えて、ロシアによるウクライナ侵攻なども相まって、想像を超えた物価高となりました。この物価高は格差問題を直撃し、2024年の世界的な選挙イヤーで現政権が大敗しました。

結果として、グローバル化の先にあった貿易の不均衡と格差拡大という負の部分の大きな修正が始まっています。まさに、2020年を起点に大きなパラダイム転換が起こっています。次期トランプ政権は、新しい国際秩序を作ろうとしています。こうした大きな潮目の変化を、当ファンドはしっかりと捉えていきます。引き続き、ご期待ください。

最高運用責任者 伊井 哲朗

◆2024年12月運用報告動画もぜひご覧ください

<https://youtu.be/temz8lcKSNM>





基準価額の推移

2013年12月27日 ~ 2024年12月30日



※「分配金込基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています。※当ファンドの信託報酬率は、ファンドの純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みとなっており、当レポート作成基準日現在、年率1.265%（消費税込）です。



運用実績

2013年12月27日 ~ 2024年12月30日

基準価額

29,030 円

(前月末比)

+734 円 (2.59%)

純資産総額

91.2 億円

(前月末比)

+1.2 億円 (1.37%)

騰落率(分配金込)

期間	騰落率
1ヵ月	2.59%
3ヵ月	5.35%
6ヵ月	3.14%
1年	18.14%
3年	13.53%
5年	62.66%
10年	147.52%
設定来	194.08%

分配金 (1万口当たり、税引前)

決算期	分配金
2020年12月	150円
2021年12月	0円
2022年12月	0円
2023年12月	0円
2024年12月	0円
設定来合計	270円

※「基準価額」およびその「前月末比」は分配後です。

※「騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。税引前分配金を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

※収益分配金は委託会社が決定します。分配を行わない場合もあります。



ポートフォリオの状況

ポートフォリオの構成別比率

株式	97.7%
その他	2.3%

市場別比率

東プライム	82.4%
東グロース	11.2%
東スタンダード	4.1%
その他	2.3%

業種別比率

情報・通信業	22.6%
電気機器	15.7%
サービス業	13.8%
小売業	7.6%
化学	7.1%
卸売業	6.6%
その他製品	5.3%
輸送用機器	4.8%
その他金融業	3.1%
不動産業	2.5%
繊維製品	2.3%
食料品	1.8%
非鉄金属	1.7%
建設業	1.7%
機械	1.1%
その他	2.3%

組入上位10銘柄

	銘柄	業種	銘柄概要	組入比率
1	サンリオ	卸売業	1960年の創業以来の理念は「みんななかよく」。ハローキティ、シナモロール、クロミ、ポムポムプリンなど、世界中で愛されるIP（キャラクターなどの知的財産）を豊富に保有し、物販事業、ライセンス事業、テーマパーク事業などを手がける。組織風土改革および構造改革、成長に向けた種まきで、未来への創造と挑戦を続ける。	5.2%
2	デクセリアルズ	化学	1962年にソニーケミカルとして創業、2012年にソニーから独立し現社名に。従来はモバイルITのディスプレイ材料がコア事業で、業績が安定しないイメージが強かったが、現在の新社長が社長に就任した2019年以降、大胆な経営陣の若返りを図るとともに、注力する差異化技術製品への経営資源のシフトを進めた結果、事業ポートフォリオが劇的に変化して高成長・高収益企業に転換。	4.2%
3	TDK	電気機器	大手電子部品メーカーの一角。磁性材料「フェライト」の工業化を原点とする素材技術からスタートし、今では、電子部品や磁気応用製品を製造。ヘッド、バッテリー、磁石、受動部品をコアに、電子部品事業を軸足として市場の求めるソリューションにより、大きく飛躍することを目指している。今後の需要拡大が期待される車載用や民生用などのセンサ応用製品の領域に注力。 AI Sewing(縫製)Robotの開発を通して日本版Industry 4.0(製造現場の自動化・デジタル化を指す)を行うリーディングカンパニーとして、縫製業界の日本回帰を促し日	3.9%

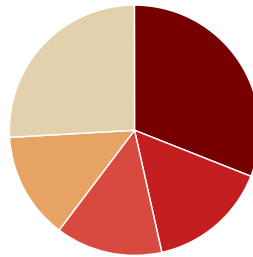
4	松屋アールアンドデ イ	輸送用機器	本の製造業の活性化に貢献することを事業目標として掲げる企業。AI画像認識等の自社の強みを生かした幅広い事業展開で存在感を増しつつあり、チャイナプラスワンの顧客ニーズに応えるべくベトナム生産体制を構築。	3.4%
5	アドバンテスト	電気機器	半導体後工程試験装置市場の世界最大手で海外売上高比率95%超のグローバルメーカー。積極的なM&A戦略で業容を拡大しています。半導体の更なる微細化や性能向上が進むにつれて半導体検査装置への設備投資が拡大する中、積極的な研究開発投資により装置の性能向上を図り、半導体メーカーなど顧客からのハイレベルな要求に伝えていくことで更なるシェア拡大を目指します。	3.2%
6	三越伊勢丹ホールディングス	小売業	三越伊勢丹HDは、国内20店舗・海外27店舗の百貨店を中核に据えながら、クレジット・金融など幅広い事業を営む。長期的に目指す姿は、「お客さまの暮らしを豊かにする、“特別な”百貨店を中核とした小売グループ」。特に、伊勢丹新宿本店は徹底的にファッションを追求し、三越日本橋本店は伝統・文化芸術・暮らしを強みとした店舗を構築。	3.1%
7	コナミグループ	情報・通信業	1970年代初期のアミューズメント機器（アーケードゲーム）の製造販売から始まり、家庭用ゲーム機向けコンテンツの制作、モバイル端末向けモバイルゲームの制作・配信を開始。ゲーム事業の特徴は、野球やサッカーといったスポーツ系に強い。また、スロットマシンやカジノマネジメントシステムの開発・製造・販売、スポーツクラブの運営および公共スポーツ施設の管理運営なども手がける。	3.0%
8	ファーストリテイリング	小売業	1963年設立。企業理念は、「服を変え、常識を変え、世界を変えていく」。ユニクロ、ジーユーなどのブランドを世界中で展開しています。中核事業のユニクロは、LifeWear（究極の普段着）のコンセプトのもと、高品質な素材や機能性素材を使った独自の商品を、手に取りやすい価格で販売。ジーユー事業については、ファッションと低価格を強みとしています。	2.8%
9	メイコー	電気機器	プリント配線板製造国内最大手グループ。主軸の車載用、スマホ用ともに増勢基調。車載用は自動運転、電動化の普及拡大により需要は旺盛。スマホ用は中国、韓国向けに強み。更なる需要拡大を見据えて設備投資も活発化。	2.8%
10	東映アニメーション	情報・通信業	1948年設立。テレビアニメや劇場アニメなどを企画・制作し、テレビや劇場、ブルーレイなどの映像パッケージ、配信プラットフォーム、などさまざまなメディアで展開。アニメの著作権ビジネスは高い収益力を誇る。古くから海外マーケットを開拓、海外売上高比率は5割超と高い。	2.7%

※「ポートフォリオの構成別比率」「市場別比率」「業種別比率」「組入上位銘柄」に関しては、マザーファンドについての記載となります。
 ※各比率はマザーファンドの純資産総額を100%として計算しております。四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
 ※その他とは現金等を指します。
 ※業種については東証33分類に基づいて記載しております。



時価総額別構成比

時価総額別構成比



- 1000億円未満： 31.0%
- 1000億円以上3000億円未満： 15.5%
- 3000億円以上5000億円未満： 13.8%
- 5000億円以上1兆円未満： 13.8%
- 1兆円以上： 25.9%

※比率はマザーファンドの純資産総額を100%として構成銘柄数における当該時価総額別の社数の割合を計算しております。四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。



市場概況

12月前半の日本株は堅調な推移となりました。2日夜に11月の米ISM製造業指数が発表され、米製造業部門の縮小ペースの鈍化が示されたことで米国株が上昇、翌3日の日経平均株価も大幅高となり39,000円台を回復しました。6日に発表された11月米雇用統計では労働市場の緩やかな減速傾向が確認され、月半ばに行われるFOMC（米連邦公開市場委員会）での利下げ観測が強まりましたが、その後の米利下げペースが緩やかになる一方、日銀の追加利上げは当面の間は見送られるとの観測からドル円相場で円安がすすみ、日本株は上昇を続けました。

中盤以降は一旦は調整に転じましたが、月末にかけては掉尾の一振への期待から上昇しました。18日まで行われた米FOMCでは利下げが実施されましたが、翌2025年の利下げ回数の見通しを4回から2回に引き下げタカ派的な印象となったことから、NYダウが10日続落となり、米国株の軟調な動きに日本株も調整となりました。しかし、19日まで行われた日銀金融政策決定会合で政策金利を据置いたことで、ドル円相場で円安がすすむ中、ホンダと日産が経営統合への協議を進めるとの報道から業界再編への期待や株主還元への期待から月末にかけての日本株の反発を主導しました。20日以降は海外投資家のクリスマス休暇入りで薄商いとなり上値が重い展開が続きましたが、27日には日経平均株価は4万円台を回復しました。大納会こそ小幅下落となりましたが、年末株価は35年ぶりの高値となる39,894円（前年末比6,430円高+19.22%、前月末比1,686円高+4.41%）で2024年の取引を終了しました。



運用状況

12月、当ファンドは+2.59%の上昇となりました。組入上位銘柄の騰落率では、三越伊勢丹HD+29.20%、サンリオ+12.19%が上位2銘柄、東映アニメーション▲2.75%、松屋R&D ±0.00%が下位2銘柄となりました。

また、組入銘柄の中では5%以上上昇した銘柄が20社ありパフォーマンスに貢献しました。上場来高値を更新した銘柄は10社、年初来高値を更新した銘柄も18社ありました。同期間のTOPIX（東証株価指数；配当込）は+4.02%、日経平均株価は+4.41%、東証グロース市場250指数は+0.03%の上昇となりました。なお、当月、ポートフォリオ組入銘柄数は1社減って58社となりました。株式組入比率は92.5%（前月末比▲4.0%）としています。

◆2024年12月運用報告動画もぜひご覧ください。

<https://youtu.be/temz8lcKSNM>

2024年12月運用報告動画





未来予想図

【コンテンツ ～生成AI、夢のあるエンターテインメントに期待、スマホで新市場が創造されたように～】

・コンテンツにおける 日本IP（知的財産）の高い競争力

日本のコンテンツ産業は、ゲーム、アニメを中心に、世界的にも存在感が高まっていますが、昨年は、以前にも増して存在感が際立った年でした。

第96回アカデミー賞（2024年）で、「ゴジラ-1.0」が日本映画として初めて視覚効果賞を受賞、宮崎駿監督作「君たちはどう生きるか」が長編アニメーション賞を受賞しました。

第76回エミー賞（アメリカの優れたテレビ番組などに贈られる）では、俳優の真田広之さんがプロデュースと主演を務めたドラマシリーズ「SHOGUN 将軍」がドラマ部門の作品賞、主演男優賞など18の賞を受賞しました。

言わずと知れた日本のコンテンツは、**日本の主要な輸出産業**です。「CESA ゲーム産業レポート2024」によると、2022年のデータで、コンテンツ産業の海外輸出額は4.7兆円（その内訳として、ゲーム2.8兆円程度、アニメ1.4兆円程度）に達します。

また、日本経済新聞（2024年12月30日）によると、世界のキャラクターにひもつく累積収入（メディアミックス作品の誕生から2023年まで）は、1位 ポケモン、2位 ハローキティ、6位 それいけ！アンパンマン、8位 少年ジャンプ／ジャンプコミックス、9位 マリオ、など**世界トップ10の半数は日本発のIP（知的財産）**となっています。

・ファン年齢層の広がり、長寿化、動画配信などで世界で認知度が高まる

ゲーム、アニメなどのコンテンツは、子供の時に親しんだ層が大人になってもファンを続けるなか、ファン年齢層が広がり、コンテンツが長寿化しています。

また、IPホルダーは、コンテンツを、テレビ放送、劇場映画公開、動画配信、マーチャンダイジング、トレーディングカード、フィギア、イベントなどさまざまな形で拡散し、熱心なファンのコミュニティをつくっていきます。

コンテンツの長寿化の一例として、「名探偵コナン」のシリーズは、1996年からテレビアニメを放送、劇場映画版は1997年に第一作公開で、昨年に27作目が公開されましたが、熱心なファンの広がり、映画興行収入は2022年から毎年過去最高を更新中です。

また、日本のコンテンツは、定額の動画配信で過去作を含め世界中の人々が安価に容易にアクセスできる環境になったことや、劇場映画公開の波及力も大きく、海外での認知度が高まっています。

・世界50億人を超えるインターネット利用者がターゲット、生成AIとのシナジーも

世界のインターネット利用者は増加基調で2023年で50億人を超えています。「Newzoo-Global-Games-Market-Data-July-2023」によると、世界でのゲームプレイヤーは33.8億人、その内訳は、モバイルで28.6億人、PCで8.9億人、コンソール（家庭用ゲーム機）で6.3億人です。米動画配信大手ネットフリックスの世界の有料会員数は拡大基調で、2024年9月末で2.8億人（前年同期比14%増）となっています。

ゲームやアニメなどコンテンツ産業は、ファンとのエンゲージメントを高めていく一方、テクノロジーの進化に順応し成長してきました。

ゲームは、ゲーム専用機の高性能化に対応し、また、スマホの登場でモバイル向けのゲームアプリの開発に対応し、大きな市場を生み出しました。アニメについても、高精細化などや動画配信への対応も進めています。

今後の注目は生成AIです。ゲームやアニメなどコンテンツ産業にとってリスクでもありチャンスにもなりえますが、世界で50億人を超えるインターネット利用者向けに、夢のある新しいエンターテインメントが生まれることを期待します。



シニア・アナリスト 上野 武昭



コモンズPOINTからのお知らせ

ザ・2020ビジョンの寄付のしくみコモンズPOINTについて→<https://www.common30.jp/fund2020/point.php>

【コモンズPOINT第12期応援先選考にご協力お願いします】

2024年12月21日に、ザ・2020ビジョンをコモンズ投信でお持ちであったお仲間（お客さま）のみなさま（12月18日時点）に、最終候補3団体から1団体を選び推薦いただくようお願いのメールをお出ししております。



みなさまから頂戴する推薦の声とその理由は、最終選考の場において大変重要な判断材料になります。また、各候補団体のみなさまにとっても、今後の活動において励みとなる応援の力となります。ご推薦期間は【2025年1月16日（木）】までです。ぜひご協力お願いいたします。

最終候補3団体については、こちらのブログをぜひご覧ください。

『第12期POINT応援先 最終候補3団体が決定しました！』

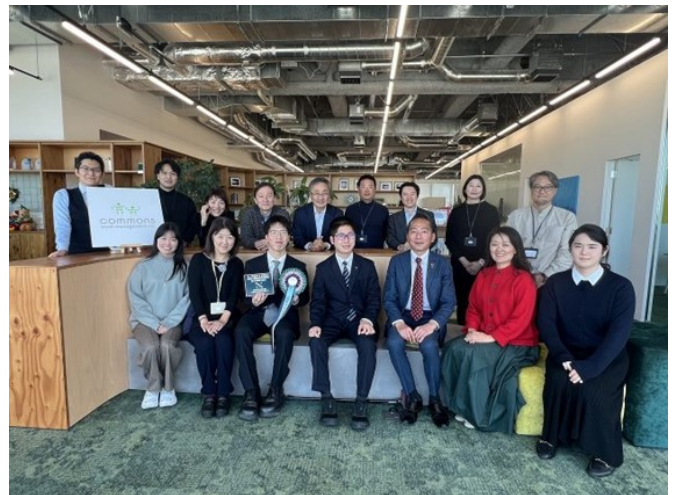
<https://www.common30.jp/contents/donate/5212/>

【第9、10、11期応援先団体 日本障がい者乗馬協会のみなさまが来社】

12月は、応援期間最後のタイミングということで、日本障がい者乗馬協会の皆さんが、コモンズ投信のオフィスに来てくださいました。パリの大会に出場した稲葉将選手、吉越奏詞選手、そして河野正寿事務局長が、パリでの出来事や裏話、競技に臨む心構え、パートナーである馬との絆など、さまざまなお話をしてくださり、当社会長や社長、社員たちと共に笑顔が絶えない素敵な時間を過ごしました。以下ブログをぜひご覧ください。

【コモンズPOINT～対話する寄付が生み出す新しいビジョン～】

<https://www.common30.jp/contents/news/letter/5256/>



ソーシャル・エンゲージメント・リーダー 馬越 裕子

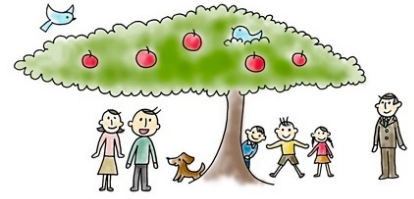


お知らせ

Pick up! セミナー

最新のセミナー情報は commons 投信ウェブサイトの「[セミナー情報](#)」をご覧ください。

<http://www.common30.jp/seminar/>



◆2024年12月運用報告動画もぜひご覧ください。

<https://youtu.be/temz8lcKSNM>



□【金沢】 commons 投信15周年感謝のつどい
～自分にも、社会にも、いい投資～

1月11日 (土) 13:00～15:30

□【大阪開催】

はじめての commons & 運用報告会

1月26日 (日) 13:30～15:45

□【大阪開催】

こどもトラストセミナーおかねの教室

おかねの4つの使い方～貯金箱をつくろう！～

1月26日 (日) 11:00～12:00

【大阪開催】

commons 投信
はじめての commons
& 運用報告会



□<会場開催> commons 30 塾

投資先企業「味の素(株)」をお迎えして

～ASVレポートから味の素の価値創造に迫る！～

1月30日 (木) 19:00～21:00

□<会場開催> commons 30 塾 総合レポートワークショップ

投資先企業「丸紅」との対話

1月9日 (木) 19:00～21:00

□【会場開催!】はじめての commons 特別編 commons のファンを大解剖!

1月21日 (火) 19:00～20:00

□【会場開催!】こどもトラストセミナーおかねの教室

おかねの4つの使い方～貯金箱をつくろう！～

1月19日 (日) 10:00～11:30

□ commons の視点～企業のミカタ～

三菱商事のご紹介

1月29日 (水) 20:00～20:30

□【会場開催 | 女性限定 | 共催企画】ココロもフトコロも温めたい!

日本株投資で教養も身につくセミナー

1月19日 (日) 10:00～11:30

□<会場開催> カードゲーム! 「from Me」体験会 @こどもトラストセミナー

2月2日 (日) 09:30～11:45

※詳細は commons 投信のウェブサイトにてご確認ください。

☆アーカイブ動画を [YouTube「COMMONSTV」](#) にて配信しております。
ぜひ、チャンネル登録をお願いいたします! ☆



販売会社一覧

販売会社名称	登録番号等	関東財務局長 (金商) 第195号	日本証券業 協会	一般社団法人 金融先物取引業 協会	一般社団法人 日本投資顧問業 協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第195号	○	○	○	○
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第165号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第44号	○	○		○
株式会社静岡銀行	登録金融機関	東海財務局長 (登金) 第5号	○	○		
岡三証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第53号	○	○	○	○
とちぎんTT証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第32号	○			
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第164号	○	○		
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第61号	○	○	○	○
京都信用金庫	登録金融機関	近畿財務支局長 (登金) 第52号	○			
PWM日本証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第50号	○			○
株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第10号	○	○		
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長 (金商) 第140号	○	○		○
百五証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長 (金商) 第134号	○			
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第67号	○	○	○	
株式会社イオン銀行 (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第633号	○			

当ファンドは、NISA制度における「成長投資枠」の対象商品ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、各販売会社にお問い合わせください。



ザ・2020ビジョンのリスクについて

基準価額の変動要因

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま（受益者）の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま（受益者）に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。お客さま（受益者）には、当ファンドの内容・リスクを十分にご理解のうえ、ご投資の判断をしていただくよう、よろしくお願い申し上げます。なお、下記のリスクはすべてのリスクを網羅しているわけではありませんので、ご注意ください。

基準価額の変動要因となる主なリスク

株価変動リスク	当ファンドは実質的に国内の株式を組入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内の経済・政治情勢などの影響を受け変動します。株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割込むことがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引が行えない、又は取引が不可能となる場合が生じることを流動性リスクといいます。この流動性リスクの存在により、組入銘柄を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不足の損失を被るリスクがあります。



その他の留意点

収益分配金は、預貯金の利息とは異なります。収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。収益分配の支払いは、信託財産から行われます。従って純資産額の減少、基準価額の下落要因になります。



ザ・2020ビジョンの費用について

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	(コモンズ投信の場合) ありません。 (委託会社の指定した販売会社の場合) 販売会社が、別途定める購入手数料を申し受ける可能性があります。なお、販売会社における購入手数料は3.3% (消費税込) が上限となっております。
換金手数料	ありません。
運用管理費 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.265% (消費税込) を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逡減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用・手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額に対して年0.11% (消費税込) を上限として投資信託財産により控除されます。上記の手数料 (費用) 等の合計額については、運用状況、保有期間等に応じて異なりますので、上限等を事前に示すことができません。



お申込みメモ

その他	商品分類	追加型投信/国内/株式
	信託設定日	2013年12月27日
	信託期間	無制限（ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。）
	決算日	原則として毎年12月18日(休業日のときは、翌営業日を決算日といたします。)
	分配方針等	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
	購入単位	(コモンズ投信の場合) 1万円以上1円単位 (委託会社が指定した販売会社の場合) 販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問合せください。
	購入価額	換金申込受付日の基準価額
	換金単位	(コモンズ投信の場合) 1円以上1円単位 (委託会社の指定した販売会社の場合) 販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
	換金価額	換金申込受付日の基準価額
	換金代金の支払い開始日	換金申込受付日から起算して5営業日目にお支払いします。
	申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。午後3時を過ぎてのお申し込みは、翌営業日のお申込みとして取扱います。



ご注意事項

- ◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものです。
- ◆ファンドの組入銘柄の参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。
- ◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合があります。
- ◆投資信託の取得を希望される方は、コモンズ投信または委託会社が指定した販売会社でお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。また、ご自身の判断でお申し込みください。



関係法人

委託会社

コモンズ投信株式会社
〒107-0062
東京都港区南青山2-5-17 ポーラ青山ビル16階

- ・金融商品取引業者
- ・関東財務局長（金商）第2061号
- ・加入協会 一般社団法人投資信託協会

お問い合わせ先
■コールセンター（受付時間／平日 午前10時～午後4時）
03-5860-5706
■ウェブサイト
<https://www.common30.jp/>